

現代ロシア社会論

2015年秋講座

グローバル時代とは何か

【歴史的経緯】

1. かつてソ連という国があった
2. 冷戦という概念
3. そしてロシアが復活

【現在の情勢】

1. 国際関係の重要なプレイヤー
2. 資本主義とオルガリヒ
3. プーチン大統領という個性
4. ウクライナ問題(報道されないロシアの主張)

現状モデル



1. ロシアは資源大国

根付きつつある資本主義
オルガリヒという特殊な形態

2. CIS周辺国やEUからのアプローチ

グルジア・モルドバ
アルメニア・ベラルーシ・アゼルバイジャン

☆ バルト3国

☆ ウクライナ

現状モデル



3. 日本との経済結びつき

- ① 近年の伸び
- ② 日本からの進出

4. 経済制裁

- ① どれが効き目があったか
- ② いつまでやるのか

5. 北方領土問題

ロシアでの状況

6. NATOというものの本質

一般のロシア人の考え



- ① 生活習慣・宗教
意外と義理人情
- ② 政治感覚
政治家は悪い者
- ③ 何しろ広い
隕石が落ちたが
- ④ アメリカ感・ヨーロッパ感・中国感

国境を接している国は
全部で16カ国+1地域

内陸部は驚くほど親日
日本製品の評価は高い

領土問題を解決した事例

中国
ノルウェー

ロシアの言い分とは何か

- ゴルバチョフ
冷戦の終結
経済的な限界
グラスノスチ・ペレストロイカ
- エリツィン
国内勢力との均衡
共産党非合法化
クーデター
- プーチン
ロシア周辺の意思決定
クリミア侵攻

大国の目指すもの

1. 平和共存

- ・国際的危機への対処
パンデミック、テロ等

2. 相互監視

- ・撤退条件の確保
多角的 長期的な体制構築